

ARTを成功させるための工夫
および

ARTの問題点(副作用,合併症)を
軽減するための

新しい技術の開発



臨床研究

ARTで一般化されつつある新しい手技

- ・ 排卵誘発法: 早発LHサージの防止をふくめて、
poor responderにはより多くの卵胞発育、
high responderにはより少ない卵胞発育をめざす
- ・ 胚の凍結・融解
- ・ 2段階胚移植 (着床に向けて最初の移植胚からシグナル?)、
2回目は胚盤胞胚移植 → 胚の体外培養の工夫
- ・ 閉塞性無精子症でのICSI
精巢上体精子吸引法 (microsurgical epididymal sperm aspiration: MESA)
精巢内精子回収法 (testicular sperm extraction: TESE)
- ・ 孵化補助法 (Assisted hatching: AH): 透明帯を薄くする(着床率↑?)